



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601S		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	秦 康範		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	1315	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード： 学修のゴールを示すディプロマポリシー（D P）との関連 D P 1－E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 3－G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 6－K〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を高めることができる。 D P 8－M〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード： 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（25%） F 1 探究と論拠（10%） G 1 状況把握（10%） K 1 ライティング・コミュニケーション（15%） K 2 オーラル・コミュニケーション（15%） L 1 チームワーク（15%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	国や地方公共団体の研究機関である人と防災未来センター（2002年～2005年）や防災科学技術研究所（2005年～2007年）の研究員として防災行政に係る研修や研究に従事した経験から、2003年以降、国、地方公共団体の防災行政に係る審議会・委員会等を歴任して来ました。これらの業務を通じて得られた実務上の知見や経験を活かし、本演習を展開していきます（第1回～第15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、問題意識を確立し、卒業論文につなげる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得します。		

	授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：危機管理、研究論文、研究テーマ、先行研究						
授業の趣旨	■副題 災害軽減と持続可能な社会の形成について学ぶ ■授業の目的 危機管理に関わる諸問題を概観し、受講者が自らの関心に基づき研究テーマを設定し、卒業論文に向けて研究を進めていきます。当科目では、関心ある領域に関する先行研究のレビューを行い、未解決な問題を抽出し、研究テーマ設定、研究計画の構築につなげていくことを目的としています。 ■授業のポイント 卒業論文の制作のための個人研究計画を確立するために、受講生全員で発表し、議論を繰り返すことにより、よりよい研究計画を確立します。						
総合到達目標	■旺盛な関心をもって危機管理学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析することができる。 ・研究方法や研究論文の進め方について理解できる。 ・問題点や論点を探究し、自らの見解を持つことができる。 ・問題意識を持ち、探究することができる。 ■論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果を卒業論文にまとめ、適切に表現することができる。 ・自らの見解を証明するための文献や資料収集することができる。 ・文献の読み方や資料の解釈などを修得する。						
成績評価方法	■授業参加度（15回）50% 適応ルーブリック：E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1 （評価の観点）他社の報告に対して積極的に質問やコメントを述べているか、他者から提示された質問やコメントに対して適確に回答を行っているかなど、演習授業への積極的な参加を評価します。 （フィードバックの方法）演習中、必要に応じてコメントします。 ■レジメ・パワーポイント作成（2回）50% 適応ルーブリック：E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1 （評価の観点）レジメやプレゼンテーションの内容、論理構成、わかりやすさなどについて評価します。 （フィードバックの方法）レジメの作成・提出、プレゼンテーションの準備・発表の過程で随時コメントします。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を想起できるようになる。(E1、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) シラバスを通読しておく。 ④復習(120分) 授業の狙いや内容などについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 資料の収集・検索 ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の実施とその卒業論文執筆に際して必要な資料（書籍、論文、その他）の検索・収集方法を説明できるようになる。(E1、F1、K1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 関心のあるテーマを選定し、どのような資料が有用か検討する。 ④復習(120分) 資料の検索方法について、講義での配布資料をもとに十分に復習する。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を想起できるようになる。(E1、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) シラバスを通読しておく。 ④復習(120分) 授業の狙いや内容などについて確認する。	2	①授業テーマ 資料の収集・検索 ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の実施とその卒業論文執筆に際して必要な資料（書籍、論文、その他）の検索・収集方法を説明できるようになる。(E1、F1、K1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 関心のあるテーマを選定し、どのような資料が有用か検討する。 ④復習(120分) 資料の検索方法について、講義での配布資料をもとに十分に復習する。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を想起できるようになる。(E1、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) シラバスを通読しておく。 ④復習(120分) 授業の狙いや内容などについて確認する。						
2	①授業テーマ 資料の収集・検索 ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の実施とその卒業論文執筆に際して必要な資料（書籍、論文、その他）の検索・収集方法を説明できるようになる。(E1、F1、K1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 関心のあるテーマを選定し、どのような資料が有用か検討する。 ④復習(120分) 資料の検索方法について、講義での配布資料をもとに十分に復習する。						

3	①授業テーマ 資料の収集・検索 ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の実施とその卒業論文執筆に際して必要な資料（書籍、論文、その他）の検索・収集方法を説明できるようになる。(E1、F1、K1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 関心のあるテーマを選定し、どのような資料が有用か検討する。 ④復習(120分) 資料の検索方法について、講義での配布資料をもとに十分に復習する。
4	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
5	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
6	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
7	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。

8	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
9	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
10	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
11	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
12	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。

		マに関し再度検討を行う。
13		①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
14		①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討 ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員で論理的なディスカッションを行えるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習(120分) 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
15		①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまでの14回の授業を総括し、科目全体に関するまとめのディスカッションを通じて自身の到達度を把握できるようになる。(E1、F1、G1、K1、K2、L1、M1) 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。 ③予習(120分) 自身の報告、授業全体のディスカッションを振り返る。 ④復習(120分) 後期における研究に向けた計画を立てる。
関連科目		基礎ゼミ (RMGT2601S)、ゼミナールⅡ・Ⅲ・Ⅳ (RMGT4602・4603・4604)
教科書		特にありません。
参考書・参考URL		授業時に適宜指示をします。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：掲示板にてお知らせします。メールにて事前にアポイントメントをとってください。
研究比率		■危機管理領域との対応 災害マネジメント70%；パブリックセキュリティ10%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学90%、法学10%

